

科目名	基礎柔道整復学 I						
分野	専門分野	担当教員	馬場 泰行,早川 雅成				
開講時期	1学年 2・3学期	単位数	講義	実技	演習	実習	
時間数	60		4				
科目の概要	柔道整復術の概説, 柔道整復師とは(概論), 人体に加わる力損傷に対する身体の基礎的状態, 各組織の損傷, 評価, 治療法を教授する. (馬場) 関節(脱臼含む)・筋腱軟部組織・末梢神経損傷、治療法 (総論) (早川)						
学習の到達目標	柔道整復術の概説, 柔道整復師とは(概論), 人体に加わる力損傷に対する身体の基礎的状態, 各組織の損傷, 評価, 治療法について学習する. (馬場) 過去の国家試験レベルの問題で正答を示すことができる. 選択肢等, 文や用語につき解説できる. ※ 要所で問題・解答解説を行う(早川)						
成績評価の方法と基準	定期試験, 授業態度(馬場) 本学の規定に準ずるが、授業態度(服装・頭髮含む)・授業に対する姿勢も考慮する. (早川)						
使用テキスト	標準テキストを基にして学習を行う. (馬場) 柔道整復学理論編, 配付資料(早川)						
参考文献	柔道整復理論編改訂第7版(南江堂)(馬場) 骨折保存療法における基礎知識, Judo therapy, Judo therapy hand book 等(早川)						
実務経験を有する者	○						
講義計画	講義内容						
1	授業説明, 概説, 人体に加わる力, 損傷に関する身体の基礎的状態, 損傷に加わる力, 痛みの基礎 教科書P12～19(馬場)						
2	骨の損傷① 教科書P20～23(馬場)						
3	骨の損傷② 教科書P23～27(馬場)						
4	骨の損傷③ 教科書P27～31(馬場)						
5	骨の損傷④ 教科書P31～34(馬場)						
6	骨の損傷⑤ 教科書P34～36(馬場)						
7	骨の損傷⑥ 教科書P37～39(馬場)						
8	骨の損傷⑦ 教科書P39～41(馬場)						
9	骨の損傷⑧ 教科書P41～42(馬場)						
10	骨の損傷⑨ 教科書P42～46(馬場)						
11	骨の治療法(骨折の整復法, 固定法) 教科書P88～91, P95～101(馬場)□						
12	後療法① 教科書P101～109(馬場)						
13	後療法② 教科書P109～131(馬場)						
14	指導管理, 外傷予防 教科書P131～145(馬場)						
15	総合評価(まとめ)(馬場)						

講義計画	講義内容
16	関節の構造(早川)
17	関節の損傷(早川)
18	脱臼の概説(早川)
19	脱臼の症状・合併症・経過と予後(早川)
20	靱帯の損傷(関節包損傷含む)(早川)
21	軟骨の損傷(関節唇・関節円板・半月等)(早川)
22	筋の構造と機能、損傷について(早川)
23	筋損傷の分類と治癒過程・予後(早川)
24	腱の損傷(早川)
25	腱損傷の分類と治癒過程・予後(早川)
26	末梢神経の損傷(早川)
27	整復の概説(早川)
28	固定の概説(早川)
29	後療法の概説(早川)
30	総合評価(まとめ)(早川)

(2026年度)